

2025年7月

「抱負文」石坂 信也（取締役候補者）

この度、アスクルの社外取締役という重要な職責をお引き受けする機会を頂き、大変光栄に存じますとともに、その責任の重さを真摯に受け止めております。

私は2000年以降、日本国内においてオムニチャネル戦略に基づく小売展開を主導し、リアルとオンラインを融合させた新たな顧客体験の創出に努めてまいりました。インターネットビジネスには20年以上携わり、常に消費者ニーズとテクノロジーの進化を先取りしながら事業を推進してきました。

アメリカにおいては、M&Aを通じて複数のサービス事業を取得・統合し、多店舗展開型のサービス業態を構築してまいりました。さらに、テクノロジーを積極的に活用し、ハードウェアとソフトウェアを融合させた商品販売事業にも取り組み、リアルとデジタルの垣根を越える新しい事業モデルの確立に力を注いでおります。

これらの実務経験は、企業の変革や事業再構築、新規事業立ち上げにおける意思決定力と実行力を養う貴重な機会となりました。あわせて、金融領域にも直接関わり、資本政策、ファイナンス、ステークホルダーコミュニケーションにおいても、実務的かつ戦略的な観点から企業価値向上を支援してまいりました。

アスクルは、BtoB・BtoCにおける通販業界のフロントランナーであり、私自身が長年にわたり注目し、研究対象としてきた存在です。特にその高い顧客満足度とロジスティクス能力、先進的なIT活用、そして社会に誠実に向き合う企業理念と文化には強く共感しております。

今後のアスクルには、ますます複雑化する社会課題への対応、デジタルトランスフォーメーションの加速、持続可能な経営、人的資本の最大活用といった数々の挑戦と機会が存在します。私は、これまで培ってきた国内外における経営経験、企業変革の実行力、そしてテクノロジーとサービスを融合させた事業開発の実績を活かし、社外取締役として建設的な提言と実効力ある支援を行ってまいります。

アスクルの未来に貢献し、その企業価値をさらに高めていくために、誠心誠意努力していく所存です。

以上

2025年7月

「抱負文」 秀 誠（取締役候補者）

アスクル株式会社の取締役にご指名いただき、うれしさと同時に身が引き締まる思いです。まずは、この機会をくださった皆さまに心から感謝いたします。

私は2002年にヤフーへ入社して以来、メディア・エンタメ・コマース・会員サービスなど多様なWebサービスを担当し、特にEコマース分野においては15年以上にわたり現場で事業に取り組んできました。現在はLINEヤフーでコマース事業を統括し、さまざまなコマースサービスを通じて「ユーザーとセラーが最適に取引できるプラットフォーム」の実現に力を注いでいます。また、これまで、6社で社外取締役を務め、さまざまなステージの企業における経営にも関わってきました。そこで得た視点と知識を、アスクルのさらなる成長に活かしたいと考えています。

まず、独立上場企業としてのアスクルが透明性とスピードを兼ね備えた意思決定を続けられるよう、取締役会で健全なガバナンスを支えます。リスクと機会をわかりやすく整理し、少数株主を含むすべてのステークホルダーの声に目を向けながら、長期的な価値創造に資する提言を行います。IT面の知見と社外で得た視点を生かし、事業リスクの管理や情報セキュリティ体制の強化にも尽力します。

さらに、LINEヤフーとのシナジーを最大限に引き出し、アスクルの非連続的な成長に貢献します。人的リソースの共有による知見交流、技術・データ基盤の連携による業務効率向上、そしてコマースサービス間のシームレスな接続による顧客接点の拡大——これら三層で相乗効果を丁寧に組み上げ、両社の強みを増幅させてまいります。

社会・経済環境が激しく変化する現在、情報技術をテコにした次世代型経営への進化が欠かせません。生成AI、クラウドインフラ、データ分析などのテクノロジーを活用し、圧倒的な生産性向上と革新的な価値提供を実現できるよう努めてまいります。また、その結果としてアスクルが環境・社会と調和した持続可能な成長モデルへと進化できるよう取り組んでまいります。

結びに、取締役としての責務を全うし、皆さまとともにより良い明日を築くべく全力を尽くすこととお誓い申し上げます。引き続きのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

以上